NO.208
2020.04

櫻丘広報

SAKURAGAOKA-KOUHOU

contents

第59回 卒業証書授与式
日本大学学長 告辞..... 2
櫻丘高等学校校長 式辞..... 3
卒業生の言葉..... 4
卒業生3年間の思い出..... 6
卒業生進路状況..... 8
鎌倉校外教育..... 10
櫻丘ニュース..... 12
表彰者..... 14
部活動結果報告..... 15

日本大学櫻丘高等学校

第59回卒業証書授与式

告　辞

日本大学学長
日本大学短期大学部学長　大塚　吉兵衛

卒業生の皆さん，卒業おめでとうございます。皆さんが所定の教育課程を修了されたことに敬意を表し，心からお祝いを申し上げます。皆さんは，これまでの本校での学園生活で勉学や課外活動に勤しみ，多くのことを学んで立派に成長できたことを実感していると思います。互いに切磋琢磨し，励まし合った友人達とは，これからはそれぞれの道を歩むようになりますが，皆さんの前に広がっている大きな世界に向かって，胸を張り，自信をもって，大いに羽ばたいてください。保護者の皆様方には，お子様の御卒業を心よりお喜び申し上げます。これまで，本校に対して深い御理解と多大な御協力を賜り，厚く御礼を申し上げます。また，教職員の皆様には，学業はもとより，様々な課外活動などにおいても生徒たちに温かい御指導をいただき，感謝いたします。

さて，これから皆さんが歩む道で忘れないでいただきたい言葉があります。それは，日本大学の学祖である山田顕義伯爵の考え方，生き方が基となっている本学の教育理念の「自主創造」です。これは，「自ら考え，自ら学び，自ら新しい道をひらく」ことであり，学びへの姿勢を示した言葉です。

山田学祖は，欧米諸国の法律を学ぶことが主流だった明治の時代に，初代司法大臣として，西欧化への流れを安易に受け入れるのではなく，日本の文化・伝統・慣習を踏まえた法の整備に着手するとともに，日本の法学を創出するための人材育成を目指して，日本大学の前身である日本法律学校の創立に中心的役割を果たしました。このように，これからの日本の規範となる法の整備と人材育成に取り組んでいきました。

皆さんがこれから進んでいく世界は，時代の大きな転換点に差し掛かっています。東西冷戦が終了して30年が経ちましたが，この間に世界は大きく変わりました。グローバリゼーションの拡大を経て，その反動からの「自国第一主義」が広がり，また，貧富の格差の拡大やＡＩ（人工知能）など新技術の急速な発達，さらには政治の分断化，ポピュリズムの台頭による民主主義の揺らぎなど，いずれもこれまでの常識や一国だけでは解決することが困難な問題ばかりです。皆さんは，このように難しく見通しの立たない時代を生き抜いて行かなければなりません。皆さん，このような時代だからこそ，本校で学んだ学びへの姿勢を忘れないでください。正解はどこにも用意されていませんし，答えも用意されてはいません。しかし，皆さんなら困難を乗り越えていく力が備わっているはずです。自らの考えで行動できる，そうした取り組みのできる人間が新しい道を切り開くことができるのです。これからも決して学びを疎かにすることなく，能力を高めるとともに，感性を磨き，新しい世界に立ち向かってください。皆さんは社会的にも法律的にも立派な大人です。18歳から選挙権も与えられ，自分の行動に責任を持たなくてはなりません。強い意見や大きな声に安易に従うのではなく，自分の頭で考えてから，発言することを心掛けてください。そのためには，スマートフォンからの情報だけを鵜呑みにすることなく，広い世界を見ることが必要です。自分だけの狭い殻に閉じ籠ることなく，様々な人と交流し協調性を磨き，お互いが成長するようなコミュニケーション能力を身に付けてください。世界に通用する大きな人間になるよう日々の努力を疎かにせず，成長していくことを期待しています。

結びに，保護者の皆様，お子様は，これから歩む道で日々成長していきます。どうかお子様の自主性を尊重して温かい目で見守ってほしいと思います。

卒業生の皆さん，自らの手で，素晴らしい未来をつかんでください。皆さんのこれからの御活躍を祈念して，本日の告辞といたします。

令和２年３月２日

式　辞

日本大学櫻丘高等学校校長　大木　治久

卒業証書を授与された494名の皆さん，ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，このような形の卒業式になってしまったこと，大変残念に思います。しかしながら皆さんの卒業を心より，そして盛大に祝いたいと思います。

さて，年号が令和となり初めての卒業生となる皆さんが，本校の所定の教育課程を無事終了し，めでたく卒業の日を迎えることができましたことは，一人ひとりが3年間たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることは言うまでもありません。その努力に対し，心から拍手を送ります。

静かに目を閉じれば，皆さんの心に浮かぶことがいくつもあると思います。期待と不安を胸に抱いた入学式，本気で競い合った体育大会，平和について考えた九州修学旅行，クラスが一丸となって臨んだ櫻高祭など，本校での3年間が走馬灯のように駆け巡り感無量の思いではないでしょうか。

さて，皆さんは日本大学の教育理念である「自主創造」のもと，「自ら学び」「自ら考え」「自ら道を切り開く」という力を育んできました。これから長い道のりを進むにあたり，本校を卒業される皆さんにお話ししたいことが2つあります。まず1つ目は，「挑戦し続けて欲しい」ということです。これから皆さんが生きていく社会はかつてないスピードで変化していきます。そのような中で努力を惜しまず学び続け多様な分野に興味を持ち探究すること，時代の変化に対応し正解がない課題に立ち向かう強い気持ちを持ち続けることが大切であります。自ら道を切り開き，予測困難な未来を生き抜くために常に努力をしていく皆さんのことを心から応援します。そして2つ目は，いつも皆さんにお願いしている「リスペクト」の気持ちを常に持ち続けていただきたいということです。リスペクトすること，すなわち周囲に対して謙虚さを持つことが大切です。相手を思いやる気持ちを常に持ち，礼をわきまえ人と接することができれば，これからのグローバル社会の中でも多様な人たちと共により良い社会や世界を作り上げることができるはずです。相手の気持ちを考え，敬意を払い，常に周りに気を配るリスペクトの気持ちを忘れずに，みんなで支えあい，社会に貢献し，幸せな世界を築く一翼を担ってください。

今日の門出は新たな学びへのスタートとなります。これから皆さんの歩む人生において，苦しいとき困難なとき，まさしく今の世界で起きているような危機的状況などがまた訪れるかもしれません。しかし，その時にこそ希望は生まれてくるということをぜひ心にとめて欲しいと思います。皆さんはこの日本大学櫻丘高等学校でよき友と共に今日まで学び，身につけたものを基として視野の広い進取の気鋭に満ちた人として，チャレンジ精神を持ちより豊かな時を過ごしてください。

最後になりますが，本日まで皆さんのことを見守り，支えてくださった保護者の方々へ感謝の気持ちをしっかりと伝えてください。また，本日ご出席いただくことができなくなってしまった保護者の皆様へは教職員一同心よりお慶びを申し上げますと共に，今日まで本校にお寄せいただきましたご支援，ご協力に深く感謝を申し上げますとどうか伝えてください。

卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念いたしまして，式辞といたします。

令和２年３月２日

卒業生の言葉

3年間を振り返って

2組　上海　ちか

卒業を前にして，3年間この高校で過ごす中で，一番近くで支えてくれて応援してくれた母に感謝の気持ちでいっぱいである。

高校生活は様々な出来事があったが，一番濃い時間を過ごしたのは部活動だ。入部して1年半程は自分の思い描いていたものとはかけ離れていて，1・2年生の時に何度も辞めたいと思った。辞めるには保護者の承諾が必要なため母に相談すると，「辞めたいなら辞めてもいい。だけどこれで終わってしまうよ。」と言われて私は踏みとどまり，最後までやりきって引退を迎えることができた。

私はあまり成績がよくなかったため，家では勉強しろと母に言われ続け，もちろん，うんざりすることもあった。ただ，大学進学がかかったテストの前には，心配で不安で押しつぶされそうだった私を励ましてくれたのも母だった。そのおかげもあり，私は希望の大学に進むことができた。今までも，母親の支えというものを薄々感じてはいたが，高校に入って自分はこの支えなしでは生きていけないということを改めて強く実感した。

部活動でうまくいかないことや嫌なことがあって家で母に話しても，母は決して慰めるようなことはせず，常に厳しく接してくれた。それでも，試合の応援には必ず来てくれて，全力で応援してくれた。引退して改めて思い返してみると，母が全力でサポートしてくれたおかげでこれほどバレーボールに打ち込むことができたのだと思う。

きっとこれからの生活の中でも，たくさんの壁にぶつかり行き詰まることがある。いつまでも親に頼らずにその壁を乗り越えて，自分が成長した姿を見せてあげたい。そして今度は，自分が親に恩返しをして支えてあげたい。今までできちんと言えてなかった分の「ありがとう」と「これからもよろしく」という言葉を，どこかのタイミングで伝えようと思う。

感謝

5組　片岡　陽美

私の高校生活はたくさんの人に支えてもらった3年間だった。高校生活では特に先生に支えていただいていることを感じた。私が先生に支えていただいていたと感じていることが2つある。

1つ目は進路相談や受験のときだ。わたしには将来の夢がなかったため，なかなか進路を決めることができず，3年間でたくさんの先生に相談にのってもらった。私には特に心に残っている言葉がある。それは「これからいろいろなことを経験するから焦らず納得いくまで悩んできめていいんだよ。」という言葉。この言葉のおかげでいろいろなことに挑戦することができたし，目標をもって進学先を決めることができた。受験のときにもたくさんの先生に協力していただき，将来の夢に一歩近づくことができた。

2つ目は日々の生活でのことだ。勉強で分からないところを聞きに行ったとき，先生方は私が理解するまで何回も丁寧に教えてくださった。勉強はやはり中学校よりも難しかったが，分からないときに聞きに行くことのできる環境を作ってくださった先生方に感謝している。

先生方は「いつでも来ていいからね。」といつも言ってくださった。支えてくださる先生がいなかったら，きっと私はとりあえず大学に行くという進路の決め方をしていたと思う。担任の先生も，そうではない先生も，相談にのってくれて応援してくれた日本大学櫻丘高等学校の先生方に出会うことができてよかった。3年間，私を支えてくれたたくさんの人への感謝の気持ちを忘れず，夢を叶えるためにこれからも努力を続けていこうと思う。

3年間を振り返って

8組　外谷　大樹

この3年間を振り返ってみると，随分と自我が仕上がってきたなとしみじみと実感する。自分の感性や価値観が成熟していくのを誇らしく思うと同時に，思いの外，人間社会を生きていくのは難しいのだなと実感した。

高校に入学したとき，まわりの皆があまりにも自分と違っていることに驚いた。育ってきた環境も，その中で培ってきた考え方や価値観も，大きく自分とは異なっていた。もちろんそれらに優劣はないから余計に混乱した。

特に人間関係ほど複雑なものはない。中学までは，反りが合わなかったらぶつかり合ってもっと絆を深めていくという流れがお決まりだし，自分自身も性にあっていてある種の美しさを感じていた。でも，皆が皆そうではなかった。波風を立てずに譲歩するという形で場をおさめる人もいれば，はなから他人の考えを否定しかしない人もいた。そんな人たちをみて，私は感心したり肩を落としたりしていた。そして私は，次第に多様性への理解を深めることができたような気がする。それによって，色々なことを俯瞰的に見られるようになったし，逆に自分らしさを大事にしようとも思えた。時々，自分を立てるべき時と他の人を尊重して譲歩しなくてはならない時の見極めが難しかった。しかし，中学校の時はここまで色々なことを考えもしなかったから，高校生になって出会った人たちとの交流の中で大人になれている，させてもらっていってるのだろうなと感じた。

だから私は，自分の人格を形成してくれたこの高校3年間を愛おしく思う。不条理なことも面倒くさいこともたくさんあったけれど，全部含めてよかったなと言い切れる。

頑張ったこと

11組　荻野　隼弥

私がこの3年間で一番頑張ったことは野球部での活動である。現役の時には，毎朝6時半頃に家を出て，夜8時頃に帰ってくるという生活で，遊ぶ時間など滅多になく，辛いこともいろいろあった。しかし，今引退してからは，そんな辛い毎日があるだけで幸せだったことに気付いた。叱られたこと，失敗したこと，現役のときの辛かった思い出も，今では全部笑い話になっているし，野球部に入ってよかったと思っている。

また，野球部で私は，自分の意見を言うことの大切さを学んだ。チームを強くするためには，良い練習をしなければいけない。良い練習をするためには，今どういう所が足りていないのか，その足りていない部分を補うために何をすればいいか考えて，言葉にしてみんなに伝えなければならない。自分の意見を70人弱いる部員全員に発信するのは勇気がいることだし，うまく伝えなければ伝わらない。私はもともと人に意見を言うことがあまり得意ではないが，得意でないからといってそこで何もしないことはとてももったいないことだと思うようになった。今そう思えるのは，本気でチームが強くなるために自分の苦手なことと向き合ってきたからだろう。まだまだ自分の意見を言うことは得意ではないけれど，苦手なことにも立ち向かう気持ちをこれからも持ち続けて行きたい。

野球部で学んだことや共に頑張ってきた仲間を大切に，これからも自分が本気でできることを見つけていきたいと思う。

3年間の思い出

卒業生 3年間の思い出年表

1組

2組

3組

4組

5組

6組

1年

4月 入学式

4月 校外教育

5月 体育大会

6月 櫻高祭

10月 鎌倉校外教育

2年

6月 櫻高祭

10月 修学旅行

11月 体育大会

3年

6月 櫻高祭

11月 体育大会

3月 卒業式

卒業おめでとう!!

7組

8組

9組

10組

11組

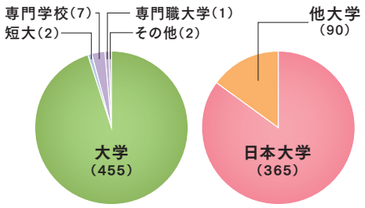
12組

卒業生進路状況・合格者インタビュー

〈卒業生494名〉

進学状況

進学総計 （467名）



進学状況	日大	他大	合計
大学	365	90	455
短大	1	1	2
専門学校	1	6	7
大学校	0	1	1
専門職大学	0	1	1
通信教育	0	0	0
海外留学	0	1	1
合計	367	100	467

日本大学進学状況	推薦	公募・AO	一般	合計
大学	358	6	1	365
短大	1	0	0	1
専門学校	1	0	0	1
通信教育	0	0	0	0
合計	360	6	1	367

他大学等進学状況	指定校	公募・AO	一般	合計
学部	43	22	25	90
短大	0	1	0	1
専門学校	1	4	1	6
大学校	0	0	1	1
専門職大学	1	0	0	1
通信教育	0	0	0	0
合計	45	27	27	99

日本大学進学状況

学部 4年生

	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願方式	追加募集	付属推薦進学総計	公募・AO等	一般入試	進学総計
法学部	50	15			65			65
二部	3	3			6			6
文理学部	74	11			85	1		86
経済学部	48	21			69			69
商学部	24	3			27			27
芸術学部	18				18	3	1	22
国際関係学部								0
危機管理学部	8	1			9			9
スポーツ科学部	6				6	1		7
理工学部	32	5			37			37
生産工学部	7				7			7
工学部								0
医学部								0
歯学部								0
松戸歯学部								0
生物資源科学部	20	5			25	1		26
薬学部	4				4			4
合計	294	64	0	0	358	6	1	365

短期大学部

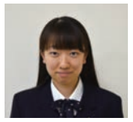
	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願方式	追加募集	付属推薦進学総計	公募・AO等	一般入試	進学総計
短大三島	1				1			1
短大船橋								0
合計	1	0	0	0	1	0	0	1

専門学校

	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願方式	追加募集	付属推薦進学総計	公募・AO等	一般入試	進学総計
看護専門					1			1
歯）歯科技工								0
歯）歯科衛生								0
松戸）歯科衛生								0
合計	0	0	0		1	0	0	1

日大編 合格者インタビュー

宮木　英奈
日本大学
文理学部
教育学科 進学



01 志望校合格の最大の要因は何だと思いますか。

私は毎日の学校へ行くまでの時間が長かったため，勉強時間の確保が難しかったのですが，通学時間などの合間を利用して少しずつ勉強をしていました。そうすることで小テストや定期テストなどの成績も上がり，付属特別選抜で志望学科に合格することができました。

02 進路を迷っている後輩に何かメッセージをお願いします。

私もギリギリまで迷っていたので，まだ焦り過ぎなくても大丈夫だと思います。大学で学びたいことは何なのかをよく考え，自分が本当に行きたい学部学科に進学してほしいと思っています。今は選択肢の幅が広がるように，定期テストだけでなく資格取得なども頑張ってください。

伊藤　優太
日本大学
生物資源科学部
獣医学科 進学

01 志望校合格の最大の要因は何だと思いますか。

課題を必ず期限よりも前に提出することを私は徹底していました。何気ないことかもしれませんが，これが第1志望の学科に合格することができた一番の要因だと思っています。課題などを早めに手をつける習慣をつけたことで，過去問の問題や解き方などを暗記するまでやり込むことができました。

02 これから受験を迎える後輩に何かメッセージをお願いします。

勉強するうえで苦手科目や得意科目が出てくると思います。私の場合は，得意科目を伸ばすことに力をいれました。苦手科目の勉強はなかなか手につきませんが，得意科目の勉強なら進んで取り組むことができます。また，苦手科目が平均的な成績でも，得意科目を活かして成績で上位に入ることができたため，私は志望学科に合格することができたと思っています。

合格状況

大学/短期大学/専門学校・専門職大学〈指定校・公募・AO・一般入試 合格件数〉

大学	指定校	AO	公募	一般	合計
日本大学				50	50
東京学芸大学			1		1
埼玉大学				1	1
山梨大学				1	1
慶応義塾大学				3	3
早稲田大学			1	7	8
上智大学	1			3	4
東京理科大学			1	1	2
学習院大学	1		1	3	5
明治大学		1		15	16
青山学院大学	1		1	5	7
立教大学	1			3	4
中央大学	1			4	5
法政大学	6		2	8	16
立命館大学				1	1
成蹊大学	5			6	11
成城大学	2			2	4
明治学院大学				3	3
武蔵大学				1	1
芝浦工業大学				2	2
東京電機大学	1			3	4
東京農業大学	1	1			2
昭和薬科大学	1			1	2
東京薬科大学	2			1	3
明治薬科大学	1				1
東洋大学				5	5
亜細亜大学				2	2
神奈川大学				2	2
神田外語大学				1	1
杏林大学			1	1	2
工学院大学				2	2
国士舘大学				1	1
埼玉医科大学			1		1
順天堂大学			1		1
城西国際大学	1			1	2
尚美学園大学	1				1
湘南医療大学				1	1
創価大学		1	1		2
大正大学				1	1
拓殖大学				1	1
玉川大学				2	2
帝京大学				1	1
帝京平成大学	1	1			2
東海大学				4	4
東京医療学院大学	1				1
東京医療保健大学		2			2
東京経済大学	2				2
東京工科大学		1			1
東京都市大学				1	1
東邦大学		1			1
獨協大学				2	2
日本赤十字看護大学			1		1
日本体育大学			1		1
武蔵野大学	1			5	6
明星大学				2	2
防衛大学校				1	1
合計	31	8	13	160	212

女子大学					
大妻女子大学	2	1			3
日本女子大学				1	1
学習院女子大学				1	1
恵泉女学園大学				2	2
駒澤女子大学				2	2
共立女子大学				2	2
実践女子大学				2	2
昭和女子大学	1			3	4
女子栄養大学	2				2
聖心女子大学	1				1
跡見学園女子大学	1			1	2
東京家政学院大学	1	1			2
東京家政大学	4			1	5
東京女子大学				3	3
合計	12	2	0	18	32

短期大学	指定校	AO	公募	一般	合計
日本歯科大学東京短期大学			1		1
合計	0	0	1	0	1

専門学校・専門職大学	指定校	AO	公募	一般	合計
慈恵看護専門学校				1	1
HAL東京専門学校		1			1
国際文化理容美容専門学校	1				1
日本リハビリテーション専門学校		1			1
東京警察病院看護専門学校			1		1
東京女子医科大学看護専門学校				1	1
東京保健医療専門職大学	1				1
バンタンデザイン研究所		1			1
桑沢デザイン研究所				1	1
合計	2	3	1	3	9

合格件数

- 大学 244件
- 短期大学 1件
- 専門学校 専門職大学 9件

他大編 合格者インタビュー

渡辺　ゆりあ
東京学芸大学 教育学部
初等教育教員養成課程(A類)
国語教育専修 進学

01 進学先を決めた時期と選んだ理由を教えてください。

私は高1の夏に志望校を決めました。幼い頃から小学校教諭になりたいと考えていたので，教育に特化した国公立大学を調べました。その中で，東京学芸大学が一番理想に近く，3回オープンキャンパスと模擬授業に参加してさらに志望する想いが強くなりました。

02 志望校合格のためにどのような努力をしましたか。

入試では小論文と面接が課されたので，どんなテーマや質問にも対応できるように他大学の過去問にも取り組んだり，本の要約文を書いたりしました。また，担任の先生や塾の先生に面接の練習をしていただき，本番緊張しないように心身共に強化しました。

武藤　正能
早稲田大学 創造理工学部
経営システム工学科・
慶応大学経済学部経済学科 他
合格

01 志望校合格の最大の要因は何だと思いますか。

私が考える合格の最大の要因は勉強の質です。私は，学力も本格的に受験勉強を始める時期も周りの受験生に比べて遅れてしまいました。彼らに追いつくために，毎日自分の勉強が本当に「勉強」になっているのか見直し，残された時間で質を向上させることを徹底しました。

02 櫻丘高校でよかったと思うことは何ですか。

私が櫻丘高校でよかったと思うところは，勉強のしやすい環境が整っていることです。自習室は朝行くと空いていて，朝に勉強をする上でとても役に立ちました。また，よくも悪くも勉強以外のことに気が紛れるようなことがない環境があったと思います。

※令和2年3月10日 現在

1年生鎌倉校外教育

日程 12/10　場所 鎌倉　参加学年 第1学年

令和元年12月10日(火)1年生を対象に，古都「鎌倉」にて校外教育が行われました。
校外教育当日までに，生徒たちはクラス内で班を編成し，予め見学場所やコースを作成し，ipad等を活用して事前学習を行いました。鎌倉の文化や歴史を改めて感じることができ，班で協力することの大切さを学び，2年次の修学旅行に向けての予行演習にもなったようです。

古都鎌倉

銭洗弁天

小町通り

お昼は多くの班が小町通りでグルメ散策をしました。
事前においしいご飯をリサーチしたり，たくさんのお店で様々なものを食べたり，班によって個性が見られました。生徒たちにとって慣れない班行動を通して協力することで，今までよりも生徒同士の仲が深まり，とても充実した様子でした！

高徳院の大仏にて，みんなで大仏ポーズ！
この後は大仏様の中に入りました。

長谷寺

鶴岡八幡宮

校外教育を終えて

1組　原田 華帆

今回の校外教育を終えて，私は鎌倉を以前よりも詳しく知ることができたと感じています。今まで鎌倉には何度も訪れたことがあり，この校外教育で行った場所もほとんどが行ったことのある場所でした。しかし，今回の校外教育で見た鎌倉は今まで私が見ていた鎌倉とは違ったように感じました。それは，自分たちで調べて計画を立て，自分たちの足で鎌倉を歩いたからだと思います。例えば，何回も訪れたことがあった鶴岡八幡宮の周りがあれほどまでに山に囲まれ自然豊かであることは知らなかったです。自分たちで地図を開いて行動したからこそ，できた発見だと思いました。また，鶴岡八幡宮から報国寺へと歩いている道中では，鎌倉の町の雰囲気というものを堪能することができました。鎌倉には昔からの古い家が多く，やはり歴史のある町だと感じました。山の斜面や坂の上などに建っている家も多くあり，どの家も自然に囲まれた様子が印象的でこの豊かな自然こそが鎌倉の魅力の1つであると感じました。そんな小さなことに自分たちの力で気づけたことがこの校外教育の大きな収穫だと思っています。

また，今回の校外教育は班での活動だったので，班内での協力が大切だと思っていましたが，しっかり協力して行動できて，班員全員が有意義な活動ができたと感じられて良かったと思います。班での協力は校外教育に限らず全てに対して大切なことだと思うので，活かせていけたらいいと思います。

この校外教育では新しい発見もあり，来年の修学旅行に向けて良い経験ができたと思います。この経験を来年に繋げていきたいです。

櫻丘ニュース

News 01 ニュージーランド長期留学出発

本校が進める櫻イノベーションの1つ「グローバル教育」の取り組みとして，夏に行われた中期留学に続き，1年間の長期留学が1月10日（金）から始まりました。

1年生の進藤和馬君（右）と丸山奈々美さん（左）の2名がニュージーランドのオークランドへ出発しました。

出発前，成田空港での様子

News 02 3年生センター試験

1月18日（土），19日（日）に，最後のセンター試験が実施されました。本校からは60名を超える生徒が受験し，翌20日（月）に本校にて自己採点を行い，各予備校が主催する合否判定システムへデータを送りました。

3年生の進路決定状況は8ページに掲載してあります。ぜひご覧ください。

センター試験，自己採点中！

News 03 生徒会清掃

1月18日（土）4時間目に，生徒会行事として全校清掃が行われました。各クラスを2分割し，教室や各特別教室に溜まった1年間の汚れを落としました。

これからも気持ちよく授業が受けられるように，校内を清潔に保っていきたいですね。

News 04 櫻丘高校入学試験

1月22日（水）に推薦入学試験，2月10日（月）に一般入学試験A日程，2月12日（水）に一般入学試験B日程が行われました。今年度の櫻丘高校の入試は，一般入試の受験日を2日間実施するという変更をし，例年よりも多くの中学生が受験しました。来年度，新しい櫻丘の仲間と出会えるのが楽しみですね。

News 05 英検校内受験

1月24日（金）に，1・2年生の全生徒，3年生の希望者が本校で英検を受験しました。対象は準2級と2級で，2級を持っている生徒は準1級の過去問題を解きました。昨今の大学入試は推薦の定員を多くする傾向が強まり，これまで以上に英語資格の重要性が高くなっています。高校卒業までに2級の取得を目標として学習を続けましょう。

News 06 合唱部 ウインターコンサート

2月14日（金）昼休み中に，本館アトリウムにて合唱部によるウインターコンサートが行われました。

校内にはきれいな歌声が響き渡り，多くの生徒たちを魅了していました。

News 07 日本大学付属高等学校等 第37回文芸コンクール

国語力向上の一環として文芸への関心を持ち，文芸作品の創作意欲を高めることを目的とした，日本大学が主催する第37回文芸コンクールの表彰式が2月19日（水）に行われました。

櫻丘高校からは以下の生徒が入賞しました。

【俳句の部】
佳作：秋本　果玲（1年）
佳作：武内　穂香（2年）
佳作：太田　佳茅子（2年）
佳作：三ツ村　將（2年）

【短歌の部】
入選：水谷　あんず（1年）
佳作：松原　遥（2年）

【詩 の 部】
佳作：小林　かほ（3年）
佳作：田村　美友（3年）

【小説の部】
佳作：佐々木　藍夏（2年）

【読書感想文の部】
佳作：根岸　萌咲香（3年）

人事 退職者のご紹介

加藤　廣和　数学科

令和2年2月6日（木）に定年を迎えられ，ご退職になりました。

先生は，日本大学習志野高等学校から日本大学文理学部数学科へ進学されました。昭和52年，大学を卒業後，日本大学明誠高等学校の数学科教員として奉職され，平成11年から本校にて教鞭をとられました。

本校では，広報部主任や学年主任等を歴任され，部活動では女子バレーボール部の顧問を務められ，本校の発展に大いに貢献されました。

長きにわたり，誠にありがとうございました。

先生の今後のさらなるご活躍を祈念しております。

Thank you for everything.

第59回 卒業証書授与式 表彰者

Congratulations!
部活動報告

学内からの表彰

卒業証書
卒業生494名　〈総代〉 加藤　翔太

日本大学学長賞（学業部門）
北川　博子

優等賞
29名　〈総代〉 能登　有紀

文系

金田	莉奈	進藤	英寿	藤田	恵美	藤原	愛都
田島	壱笑	三井	天音	宮木	英奈	池田	優人
尾瀬	七海	北川	博子	武田	あみ	楢村	彩莉
植松	健太	塩川	まどか	荒木	あずさ	加藤	翔太
小泉	菜々子	川村	柚実	小妻	玲菜	能登	有紀
安部	公葵						

理系

小西	廣也	坂	侑拓	田口	優	宮原	あすか
上原	ななみ	澤田	知茉				

特別進学（S）クラス

井坂　丹音　楠田　穂々美

皆勤賞
95名　〈総代〉 小泉　菜々子

精勤賞
145名　〈総代〉 小西　廣也

クラブ活動功労賞・努力賞
〈総代〉 川村　優佳

クラブ活動功労賞

小西　廣也（水泳部）
令和元年度関東大会予選会200m平泳ぎ8位入賞により関東大会出場
100m平泳ぎで関東大会への標準記録突破で関東大会出場

井上　雅王（スキー部）
第53回関東高等学校スキー大会（大回転競技）53位/147人中

手代木　優奈（テニス部）
第59回東京都高等学校テニス選手権大会 6位/1115人中
第43回東京都私立中高テニス選手権大会 1位/1000人中

川村　優佳（陸上競技部）
令和元年度全国高等学校総合体育大会 7位/66人中

クラブ活動努力賞

江森　彩音（チアリーディング部）
川添　美詩（チアリーディング部）
田島　壱笑（テニス部）
岩﨑　元　（男子バレーボール部）
別府　凜乃（女子バレーボール部）
上海　ちか（女子バレーボール部）
佐藤　果穂（ライフル射撃部）
鈴木　嵯織（ライフル射撃部）
藤井　大和（ライフル射撃部）
鈴木　花佳（ライフル射撃部）
片岡　千咲（陸上競技部）
栗谷　佳奈（陸上競技部）
山嵜　素音（陸上競技部）

学外からの表彰

〈総代〉 藤田　恵美

東京都知事賞［東京都私学財団賞（奨励賞）］
藤田　恵美

日本私立中学高等学校連合会賞
小林　かほ

東京都私学財団 文化・スポーツ活動賞
金子　愛美

東京都高等学校体育連盟　及び 東京都体育協会（体育優良生徒）表彰
川村　優佳 ・ 小西　廣也

東京都吹奏楽連盟理事長賞
松浦　柚衣

東京都サッカー協会女子連盟 優秀選手表彰
河邊　夏実

東京都高等学校体育連盟 ライフル射撃部表彰
高橋　優月

東京私立中学高等学校協会 第8支部（生徒部委員）表彰
指田　菜那 ・ 水越　春輔 ・ 村田　明日佳

東京私立中学高等学校協会 第8支部（体育優良生徒）表彰
大谷　麟太郎 ・ 高橋　優月

男子サッカー

令和元年度 地区新人選手権大会 第6地区

11月 17・24日　12月1・15・22日 / 都立野津田・都立桜修館・成城学園

成績
◆地区 第3位
本校 3－0 都立山崎
本校 3－2 都立芦花
本校 2－1 成城学園
本校 4－0 都立目黒
本校 1－5 都立駒場

ライフル射撃

令和元年度 東京都高等学校体育連盟
ライフル射撃専門部優秀校に本校が選ばれました。

吹奏楽

第43回 東京都高等学校アンサンブルコンテスト

1月5日 / 府中の森芸術劇場

成績
◆銀賞
管楽八重奏「三日月のシャンソン」
新倉　翔大（2年）　大島　桜来（1年）　萬谷　桃香（1年）
塩沢　咲生（1年）　原　優由（2年）　野沢　蓮（1年）
江川　美菜（1年）　松原　遥（2年）

チアリーディング

USA Regionals 2020 千葉大会

1月25日 / 千葉ポートアリーナ

成績
◆高校編成 Show Cheerleading-Novice部門 第3位
上記の結果により,USA Nationals 2020
全国選手権大会出場権獲得

美術

東京私立中学高等学校協会 第8支部 連合美術展

2月18日～23日 / 世田谷美術館

成績
◆高校写真の部 金賞
千葉　裕太（1年）
「waterfall」

◆高校美術の部　銅賞
今泉　凛太（3年）「コンスタンティヌス2世の凱旋」
山田　珠世（3年）「ドイツへ」

各部の活動はコチラから
www.sakura.chs.nihon-u.ac.jp/club/

EVENTS 令和2年度1学期 行事予定

4 April

6日(月) 入学式
7日(火) 始業式
8日(水) [1年生]事前ガイダンス
ネットリテラシー講座
[2・3年生]LHR
9日(木) 午前:スタディサプリ到達度テスト
午後:2・3年授業
14日(火) [1年生]LHR
(文理学部キャンパスツアー含む)
[2・3年生]午前授業
15日(水) [1・2年生]基礎学力到達度テスト
[3年生]家庭学習日
16日(木) [3年生]基礎学力到達度テスト
[1・2年生]家庭学習日
18日(土) 保護者会(家庭学習日)
21日(火) 健康診断

5 May

1日(金) スタディサポート
2日(土) [1年生]GAKUTAN・小論文テスト
[2年生]小論文テスト
[3年生]志望理由書テスト・
進路説明会(生徒対象)
9日(土) 4時限目:生徒会行事(生徒総会)
18日(月) 教育実習開始(6月6日まで)
21日(木) 短縮授業
22日(金) 第1回定期考査(26日まで)
30日(土) 英検(希望者)

行事予定の詳細につきましては,
4月に配布いたします学校行事
年間予定表をご覧ください。

6 June

4日(木) [3年生]〔Gクラス〕日大チャレンジ模試
〔Sクラス〕進研模試
6日(土) [1・2年生]〔Sクラス〕外部模試
13日(土) [1年生]4時限目:生徒相談資料調査
18日(木) 午前:授業
午後:櫻高祭準備
19日(金) 櫻高祭準備
20日(土) 櫻高祭(21日まで)
22日(月) 復元・LHR
[1・2年生]小論文リピート
[3年生]学年行事
23日(火) 櫻高祭代休
27日(土) [1年生]4時限目:進路説明会

7 July

3日(金) 短縮授業
4日(土) 第2回定期考査
([1・2年生]8日まで[3年生]7日まで)
8日(水) 第1回学校生活アンケート
[3年生]学年行事
10日(金) 答案返却日
11日(土) LHR
[1年生]成城警察講話
[2年生]ネットリテラシー講座
13日(月) [1・2年生]進研模試(記述)
[3年生]面談日(15日まで)
14日(火) [1・2年生]面談日(15日まで)
進学相談会
16日(木) ニュージーランドターム留学出発
(9月27日まで)
17日(金) 終業式
18日(土) [1・2年生]夏期講習(22日まで)
21日(火) [3年生]夏期特別講習(30日まで)
22日(水) [1・2年生]〔Sクラス〕夏期勉強合宿
(26日まで)

表紙の写真:卒業証書授与式 表彰者総代生徒集合写真

櫻丘広報 No.208 (令和2年4月6日発行)
日本大学櫻丘高等学校
[発行]日本大学櫻丘高等学校 [編集]広報部
https://www.sakura.chs.nihon-u.ac.jp